



クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔腫瘍内科〕

指標名

腫瘍センターの円滑な運用

目標・ゴール

腫瘍センターの待ち時間を減らす。

腫瘍センターの待ち時間の平均が 15 分以内になるようにする。

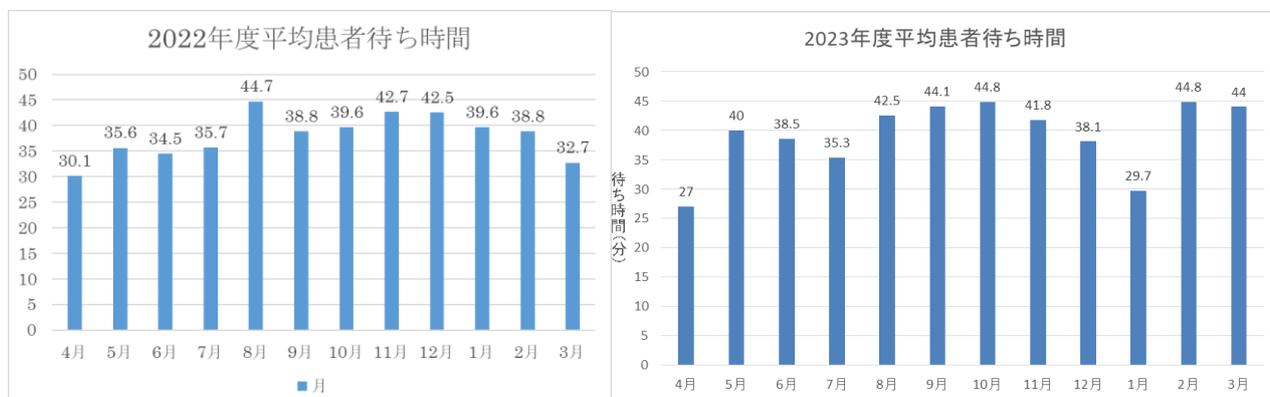
目標・ゴール達成による効果

腫瘍センターの待ち時間が減り、患者サービスが向上する。

17 時までには化学療法が終了し、職員の労働環境が改善する。

目標・ゴールに対する成果の状況

腫瘍センターの円滑な運用：前年に引き続き、腫瘍センターで化学療法を受けた患者の待ち時間の集計を行った。2022 年度は平均待ち時間 40 分台の月が 3 ヶ月だったが、2023 年度は 7 ヶ月あった。患者数増加もあり待ち時間の延長傾向を認める。目標達成は難しい状況である。



目標・ゴール達成度

S :大幅に目標を上回った

A⁺:目標を多少上回って達成

A :目標を達成

B⁺:目標を少し下回った

B : 目標を下回った

C :目標を大幅に下回った

- :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

前年度も 15 分以内という目標は達成できなかった。診察予約時刻と腫瘍センター予約時刻の間に余裕を持たせた診察予約の設定によって、検査結果の待ち時間、診察の待ち時間による腫瘍センター到着遅延の解消を図る。午前 9 時 30 分枠の時間帯の有効活用も検討されるが、採血開始時刻は午前 8 時であり、前日採血検査の推奨が一案である。がん薬物療法の進歩とともに腫瘍センターを利用する患者数は年々増加傾向であり、目標の達成は厳しい状況である。現状の工夫を更に継続し、現実的な目標として、待ち時間の平均が 30 分以内になるように改善していく。